

令和7年度事業報告書		事業 所名	陽だまりの家		作成者	草野 裕子	作成日	R8.3.31
目 標	本年テーマ	(計画) 個を大切に、目的・根拠のある楽しみの提供						
		(評価) 個に焦点を当てていく方針の理解は得られたが、実践までは出来ていない						
基本 処 遇 及 び 運 営	■令和7年度処遇及び運営方針に対しての評価							
	(計画)①賑わい、楽しみの創出(近隣との差別化) 交流ホール活用・食の楽しみの提供							
	②在宅生活継続に繋がる支援 心身機能の維持・個々の把握							
	③ショート対応の強化(利用分散化) 平日利用確保・居宅との連携・SNSの情報発信							
	(評価)							
	①健康王国を活用してレクを行う予定であったが、人員確保ができず数回しかできなかった。							
	食の楽しみは、計画通りに実施。駅弁ランチやデザートバイキングなど初めてのイベントも好評だった							
	②急な本人の状態変化、介護者の状態変化で緊急受入事案多数あり。利用後に在宅生活に復帰でき							
	継続に繋がる支援となった。個の状況把握は、相談員日誌活用により職員間の情報共有が行えるように							
	なったが、それを生かした支援までは、できていないことが多い							
③行事を平日に設定したが、平均的な分散はできなかった。SNSの発信は定期的の実施した								
研 修 ・ セ ミ ナ ー	■職員研修計画と実績							
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		生産性向上	安田・高橋					
		外部研修に参加できたのは、上記の研修のみ。参加後に、生産性向上に向けた取組として「気づきシート」の記入を全職員対象に依頼。集まったシートをもとに管理者、チーフ、リーダー、サブリーダーで課題の把握、グループ分けを行った。継続的に行うのは難しかったが、1月より生産性向上に向けた話をリーダー会議内でも実施。令和8年度に向けて、課題を検討。業務の標準化の必要性や見守り機器の導入について取り組んでいく方向性を確認した。						
会 議 ・ 委 員 会 ・ 内 部 研 修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		陽だまり会議	毎月開催。検討より報告が主だった。施設としての検討が出来るようにしていく	事故予防委員	途中、開催日確保ができず期間があくことがあった。頻発事故の対策検討を実施			
		ユニット会議	人員減少で、開催できない月が多かった。確実な開催が課題	感染症対策委員	開催はできたが、介護の参加が少なかった。感染症対応の検討、変更など実施			
		行事担当会議	開催はしたが、担当者全員が集まることは難しく、負担に偏りがあった	高齢者虐待/身体拘束委員	感染症と同時開催し、実施はしたが、介護の参加は少なかった。スピーチロックの意識向上を実施			
		リーダー会議	時間中の開催難しく、時間外になるもほぼ開催。方向性、問題点の検討ができた	給食委員	毎月、日清担当者、やすらぎ管理者参加で開催。改善事項やお互いの要望、検討を実施			
				生産性向上委員	1月より委員会発足。気づきシートからの課題抽出、見守り機器の勉強を実施			

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績				
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
		6月	6月	夜間帯の火災対応訓練	陽だまりで火災発生想定。避難誘導はできたが、やすらぎへの連絡や警報盤等の音の止め方などスムーズにできない部分あり。分かりやすい表示や動きの周知が必要。
		11月	11月	日中の火災対応訓練	初めてやすらぎで火災発生の想定とした。やすらぎ利用者が陽だまりへ避難する訓練を実施。スムーズに対応できていた。様々な想定で避難方法を検討し、訓練を行っていく。
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月				
		5日:外出(花見会)			
	5 月				
		15日:屋外BBQ			
	6 月	感染症(食中毒と嘔吐処理について) 感染BCP研修・訓練(病原体の拡散/手指消毒の徹底)			
		12日:陽だまりカフェ 24日:鉄板焼き			
	7 月	災害BCP研修・訓練(津波時の対応)			
		18日:居酒屋ランチ			
	8 月	法令遵守/倫理(倫理の必要性、介護の倫理、施設で守るべきもの等について)			
		21日:手打ちうどん 26日:夕涼み会(やすらぎ合同)			
	9 月				
		14日:敬老祝賀会			
	10月				
		11日:秋祭り 21日:石窯ピザ			
	11月				
		5日:さんま/焼き芋 13日:バス旅行 20日: 駅弁ランチ			
	12月	感染症(インフル・コロナの違い・標準予防策) 高齢者虐待/身体拘束予防(倉敷市資料)			
		22日:クリスマス会			
	1 月				
		10日:毛利様百寿祝い 16日:新年会 29日:中華ランチ			
	2 月	感染症BCP研修・訓練(ガウンテクニック)			
		3日:節分会 16日:握りずし			
	3 月	事故予防(再発防止策について) 認知症ケア(病気の理解と声掛け)			
		3日:ひな祭り会 19日:デザートバイキング			
(総評)					
令和7年度は、陽だまりのショートステイとしての在り方を、長期利用者メインから短期利用者への転換を図っている。徐々に長期利用者が入院や入所で利用中止となり、新規利用者の受入を積極的に実施。新規利用者は目標の月4件を上回る数を獲得できたが、入院やキャンセル、利用中止も多く、稼働率は目標未達での推移であった。近隣にショートステイ施設が新設されたこともあり、新規獲得、稼働率の向上には更なる対策が必要となる。行事の開催は計画通りに実施でき、利用者様も喜んで下さり、家族、ケアマネからも好評の声を頂いている。それが、他のショートステイにはない良い点であり、新規紹介に繋がっている。今後は個に焦点をあてた楽しみの提供も視野に入れ近隣新設のショートステイとの差別化を目指す。					
収支に関しては、稼働率低下のため収入が予算通り確保できなかった。長期利用者様の減少、短期利用者様の増で減少幅は予想よりも少なかった。開設から10年以上経過し、設備、備品の劣化や故障が相次ぎ、支出は修繕費や買替など予算にない支出が多数あり。(エアコン、機械浴等)収入減少、支出増加のため、収支差額は予算通りの確保はできなかった。					
業務に関しては、職員の休職があり、人員確保の難しい時期も多く、日々の業務に追われてしまい、会議や委員会、内部研修の実施が計画通りにはできず必要最低限の回数にとどまった。情報共有や伝達、検討が十分にできなかったこともあり、人員の過不足に関係なく、必要な会議、委員会、研修は実施すべきであった。次年度は、確実な開催を行う。					
これまで暗黙の了解ルールや個々のスキルでの対応で、何となく業務が上手くいっていた部分が、職員の入れ変わりや利用者様の変化、方針転換により不具合が生じている場面がある。今後は、一つずつ職員全体で統一した方法を検討し、標準化を行っていきたい。					